

放射能関係のお知らせ

2017年8月2回(D週)

お届け日:2017/7/31~8/4
発行日:2017/7/24



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/7/20(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果実	巨峰	検査予定	御坂・やはた会・東光寺・勝沼
	すもも・プルーン	品目で検査済	御坂・やはた会・勝沼・こま野・フルーツ山梨・中野
		検査予定	グリーン長野
	すいか	品目で検査済	ふるさと・こまち・飯塚
	デラウェア	品目で検査済	おきたま・御坂・やはた会・勝沼・東光寺
	ブルーベリー	品目で検査済	狭山・小田原
桃	品目で検査済	うもれ木の会・ふくしま未来・御坂・やはた会・サンファーム	
	検査予定	さくらんぼひがしね・グリーン長野・中野	
いんげん	品目で検査済	あいづ・ふくしま未来・葉菜野果・元気会・草の会	
	果菜類で検査済	二本松・谷田部・たまつくり・佐久ゆうき	
	検査予定	軽米町・かづの	
枝豆	品目で検査済	庄内たがわ・常総産直・野菜くらぶ	
	果菜類で検査済	佐原	
	検査予定	こまち・庄内ファーム・鶴岡	
オクラ	果菜類で検査済	庄内たがわ・あいづ・谷田部・やさと・野菜くらぶ・村悟空・サンド旭・和郷・風土の会	
かぼちゃ	果菜類で検査済	あいづ・たまつくり・八千代・佐原・八街・和郷・佐久ゆうき	
	検査予定	花咲・ファーマン	
きゅうり	品目で検査済	こまち・夢みなみ・あいづ・二本松・みちのく野菜・八千代・野菜くらぶ・草の会・邑楽館林・村悟空・佐原・サンド旭・和郷	
	果菜類で検査済	ふるさと・谷田部・沃土・水の里センター・グットファーム	
	検査予定	新しいわて・かづの	
ししとう	果菜類で検査済	サンド旭・和郷	
ズッキーニ	品目で検査済	飯山・グットファーム・佐久ゆうき・水の里センター	
	果菜類で検査済	草の会	
トマト	品目で検査済	八峰園・ふるさと・あいづ・みちのく野菜・谷田部・葉菜野果・野菜くらぶ・沃土・佐原	
	果菜類で検査済	こまち・夢みなみ・有機農法ギルド・たまつくり・元気会・村悟空・サンド旭・和郷・佐久ゆうき・草の会	
	検査予定	かづの	
とうもろこし	品目で検査済	海上	
	果菜類で検査済	野菜くらぶ・村悟空・八街	
なす	品目で検査済	軽米町	
	果菜類で検査済	谷田部・たまつくり・八千代・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷	
にがうり	品目で検査済	夢みなみ・谷田部・たまつくり・常総産直・八千代・沃土	
	果菜類で検査済	和郷	
ピーマン	品目で検査済	あいづ・谷田部・有機農法ギルド・八千代・沃土・草の会・村悟空・佐原・八街・風土の会・グットファーム・水の里センター	
	果菜類で検査済	庄内たがわ・あゆみの会・元気会・サンド旭・和郷・ながの	
ミニトマト	品目で検査済	あいづ・八千代・野菜くらぶ・草の会・沃土・村悟空・佐原・佐久ゆうき・水の里センター	
	果菜類で検査済		

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	アスパラ	品目で検査済	あいづ・うつのみや・飯山
	大葉	葉菜類で検査済	和郷
	キャベツ	葉菜類で検査済	野菜くらぶ・菅平・トップリバー・八ヶ岳モグラ会
		検査予定	土屋
	空心菜	品目で検査済	ふきのとう
		葉菜類で検査済	沃土・村悟空・八街・遠州・飯山
	小松菜	品目で検査済	葉菜野果・野菜くらぶ・群馬モグラ・沃土・南埼玉・佐原・風土の会
		葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・八街
	サニーレタス	品目で検査済	八ヶ岳モグラ会
	チンゲン菜	葉菜類で検査済	野菜くらぶ・トップリバー・菅平
		品目で検査済	あゆみの会
	にら	葉菜類で検査済	遠州
		品目で検査済	元気会
	ねぎ	葉菜類で検査済	葉菜野果・野菜くらぶ・和郷
		品目で検査済	谷田部・たまつくり・南埼玉
葉ねぎ	葉菜類で検査済	八千代・沃土・村悟空・八街・佐原	
	品目で検査済	村悟空・サンド旭・南伊豆	
ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・常総産直・海上・佐原	
ほうれん草	品目で検査済	野菜くらぶ・菅平	
	葉菜類で検査済	新しいわて・あいづ・栃木開拓・草の会・長野モグラ会	
みず菜	品目で検査済	谷田部・野菜くらぶ・佐原・八ヶ岳モグラ会	
みょうが	葉菜類で検査済	谷田部・葉菜野果・佐原	
モロヘイヤ	品目で検査済	庄内たがわ・草の会	
ルッコラ	葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・沃土・佐原	
レタス	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷	
	品目で検査済	野菜くらぶ・トップリバー・菅平	
若芽ひじき	品目で検査済	八ヶ岳モグラ会	
根菜	ごぼう	品目で検査済	寺島
	さつまいも	品目で検査済	利根川
		根菜類で検査済	谷田部・たまつくり・葉菜野果・佐原・和郷・清瀬
	じゃがいも	根菜類で検査済	常総・谷田部・たまつくり・葉菜野果・佐原・和郷
		品目で検査済	あいづ・常総・谷田部・たまつくり・有機農法ギルド・八街・佐原・風土の会・海上・和郷
		根菜類で検査済	葉菜野果
	玉ねぎ	根菜類で検査済	軽米町・米沢郷・ふきのとう・水の里センター・佐久ゆうき
		検査予定	みどりの・旬彩・有機農法ギルド・佐久ゆうき
	大根	根菜類で検査済	風土の会・ファーマン
		検査予定	ささかみ
	長芋	品目で検査済	ゆうき青森・野菜くらぶ
	人参	品目で検査済	津軽みらい
	にんにく	品目で検査済	葉菜野果
		根菜類で検査済	新しいわて
	れんこん	品目で検査済	花咲・ファーマン
根菜類で検査済		八千代	
れんこん	品目で検査済	常総・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	
	検査予定		

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●きのこ類 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
生きくらげ	品目で検査済	きのこ総研
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済	谷田部
なめこ	品目で検査済	谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部
ささかみのまい	品目で検査済	ささかみ
たけ	品目で検査済	谷田部
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済	*生しいたけから放射能が検出されました。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/7/19	15
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 355	炒めるサンラータンセットのしいたけ	2017/5/8	4.9
きなり 307			
コトコ 357	豚団子と春雨のサンラータン風セットのしいたけ	2017/7/19	15
きなり -			
コトコ 353	炒り豆腐セットのしいたけ	2017/4/3	3.1
きなり 304			
コトコ 349	焼き豚セットのしいたけ水煮	2017/4/3	3.1
きなり 300			
きなりセレクト 341088			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120粒:185493	ブルーベリー&ルティン	2016/11/1	6.5
240粒:185507			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都府県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

放射能拡散 6年めの対策 いかにか食べるか 4

原発事故から6年が過ぎ、いかにか食べていくのか、何を選んでいくのかは常に頭にある状態かもしれません。どのくらいまでの放射能なら安心で、どこからが危険かというラインは正確にはわかりません。

さまざまな食養生についてがあげられていますが、最も基本的なものは、「和食」「発酵食品」が日本人の培ってきた体質にあうのかもしれない。

ローフードやナチュラルハイジーンなども、和食にもみられます。むしろ、えぐみやくせをうまく消して食べる食べ方は長い時間で得られた和食の良さでもあります。

身土不二＝和食

- より科学的に食を知る

四里四方でとれる旬の食べ物を食べることで、人は土から得られたもので命を支えられているというのが、身土不二の考え方です。四里四方というのは、足で歩いていける距離ということです。

野菜には、もともと植物が生存するための「毒」をもっています。たとえば、ナス科の植物はアルカロイド系の毒、人参、きゅうりなどはビタミンCを破壊するアスコルビナーゼ、アブラナ科の植物にはゴイトロジェン(甲状腺腫誘起物質)、ほうれん草にはシュウ酸(結石の要因と言われている)、大豆に含まれるトリプトインヒター(タンパク質分解酵素を阻害する)などさまざまな物質が含まれています。

このような植物毒を人に作用しないよううまく調理して利用してきた和食には、多くの野菜を上手に取り入れてきました。

- 和食の調理の工夫

ビタミンCを破壊するアスコルビナーゼなどを含む野菜を食べる際、日本では、酢の物にしたり塩をつけたり、梅肉や味噌をつけて、有害な酵素の働きを止めて食べてきました。トマト・ナスなども体を冷やすからという言い伝えであり食べすぎないように言われてきました。

また、大豆は、煮たり、味噌や醤油など発酵させたりすることで、おいしく、身体によりよいようにして摂ってきました。

最近では、シュウ酸の少ないサラダほうれん草などがでてきましたが、ほうれん草には元々はシュウ酸を多く含むため湯がいてからカツオ節をかけて食べてきました。これは、カツオ節のカルシウムとシュウ酸が結合することでシュウ酸の影響を軽減して摂るという、ほうれん草を上手に利用してきた昔ながらの知恵です。

ナチュラルハイジーンやローフード

- 和食は生食を活かしている

人は体内に2万種類の酵素があるとされています。その生成に多くのエネルギーを使っていますが、生食は体内の消化酵素を生成するエネルギーを節約することができますとされています。放射能で傷害された身体の修復にエネルギーを使える生食を取り入れることは有効な食べ方です。

日本では植物毒の影響をうまく避けながら、漬物や酢の物として多くの野菜を生食で利用してきました。多くの果物を季節ごとによく食べることで各種ビタミンを摂ってきました。果物には多くのポリフェノールが含まれ、生で食べることでポリフェノールの量を減らすことなく摂ることができました。

また、生食は、野菜に含まれる有効な酵素も利用できます。昔から大根おろしをさんまなどに添えたりしてきましたが、大根おろしにはアミラーゼ(デンプン分解酵素)、プロテアーゼ(タンパク質分解酵素)、リパーゼ(脂肪分解酵素)が含まれています。大根おろしの酵素はすってから20分程度で分解されるため、直前にすりおろすのが大切です。

消化しやすい食べ方を取り入れることで、身体への負担を軽減し、より放射能を排出しやすい体内環境をつくることができます。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1040)」(2017/5/1～2017/6/30で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg以上検出された検体です。

ツキノワグマ肉:群馬県桐生市・みなかみ町 120・220Bq/kg

イノシシ肉:群馬県桐生市・長野原町 120・140Bq/kg

- 国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

タケノコ:群馬県渋川市ほか 5.6～99Bq/kg

クサボケ(シドミ):栃木県那須塩原市 35 Bq/kg

ウナギ:茨城県霞ケ浦(西浦) 3.7～29 Bq/kg

スズキ(海の魚):茨城県利根川(神栖市太田地先) 24 Bq/kg

ニホンジカ肉:群馬県片品村・前橋市 23～53 Bq/kg

イノシシ肉:宮城県仙台市・蔵王町ほか 7.2～73 Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

ヨモギ:福島県棚倉町 25Bq/kg

アユ:福島県桑折町 41Bq/kg

7月の放射能検査状況

7月の検査は、14日まででしいたけからしいたけ(原木栽培)から1件(7.4Bq/kg)の検出がありました。

乳幼児用食品は、検出下限値を2016年4月から1Bq/kgに下げましたが、現在まですべて不検出です。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	7月	7月の検出内容	7月
青果	26(0)		卵 0(0)
しいたけ	5(1)	しいたけ(原木栽培) 7.4Bq/kg	魚介類 13(0)
その他のきのこ類	1(0)		飲料水・飲料 8(0)
米・米飯類	0(0)		乳幼児用食品 11(0)
牛乳・乳製品	6(0)		その他加工食品 81(0)
肉類	0(0)		合計 151(1)

2016年度の放射能検査の状況(2016年4月～2017年3月)

青果	2016年5月に小田原のバレンシアオレンジの3件中1件から3.2Bq/kgが検出されました。2017年2月に常総センターのれんこんで3件中1件(6.1Bq/kg)から放射能が検出されましたが、自主基準内でした。
しいたけ、他のきのこ	しいたけが(3.1～13Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3.0～3.5Bq/kg)、ぶなしめじが(3.1Bq/kg)、なめこが(4.4Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016年産米の検査は26産地67検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2件(3.9、4.1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。米の検査は全産地終了しました。 *放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1～11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。
	<大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。
	<その他> 2016年11月にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(6.5Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

● 検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更		
	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134, 137 の合計)			国の規格基準
2014年10月より現行基準			
	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)

*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところがありますが、状況はきちんと把握できていません。栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。